



# 発掘 文京の顔展

まなざしから弥生人の想いに迫る



## 【記念講演会】

# 分銅形土製品とは何か — 顔の考古学の視点から —



分銅形土製品は、弥生時代の中国地方を中心にたくさんつくられた土製品です。その用途や系譜についてはわからないことが多く、これまでいろいろな説がたてられてきました。その中で注目されているのは、縄文時代の土偶とのかかわりです。この講演では“顔の考古学”の視点に照らして分銅形土製品にどのような読み解きができるのか、皆さんと一緒に考えてみようと思います。

設楽博己



設楽 博己 (したら ひろみ) 考古学者

1956年 群馬県生まれ  
1978年 静岡大学人文学部卒業  
1986年 筑波大学大学院歴史人類学研究科博士課程単位取得退学  
国立歴史民俗博物館考古研究部助手・助教授、  
駒澤大学文学部助教授・教授を経て、  
2010年 東京大学大学院人文社会系研究科教授  
2022年 東京大学定年退職 東京大学名誉教授  
主な著書

『弥生再葬墓と社会』 塙書房、2008  
『遺跡から調べよう! (弥生時代)』 童心社、2013  
『縄文社会と弥生社会』 (日本歴史私の最新講義) 敬文舎、2014  
『弥生文化形成論』 塙書房、2017  
『顔の考古学』 (歴史文化ライブラリー) 吉川弘文館、2020  
第8回古代歴史文化賞 大賞受賞 (2022年11月)

講師 : 設楽 博己 氏 (東京大学名誉教授)

演題 : 「分銅形土製品とは何か

— 顔の考古学の視点から —

日時 : 11月18日 (土) 13時30分 ~ 15時

場所 : 愛媛大学南加記念ホール

定員 : 250名 (参加無料)

対象 : どなたでもご参加いただけます

申込 : 以下の URL または二次元コードから  
お申し込みください。



<https://forms.office.com/r/hwhsK1Uc0Q>

申込締切 : 11月14日 (火)

お問合せ 愛媛大学ミュージアム (松山市文京町3)

TEL : 089-927-8293

Mail : [museum@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:museum@stu.ehime-u.ac.jp)